

## 【2011 まちづくりアドバイザー活動事例集】

【北 区】 雲ヶ畑のまちづくり1年目！ .....	1
【上京区】 同志社大学周辺の学生の交通マナーアップの啓発運動 .....	2
【左京区】 静原地域のまちづくり活動 .....	3
【中京区】 基本計画策定時に“区民意見交流会”を開催！ .....	4
「京都市の災害発生危機と防災マップについて」の情報交換会を開催！ .....	4
【東山区】 車いすツーリズム3デイズ！ .....	5
大学！地域！輪い輪いまつり .....	5
【山科区】 山科駅前セーフティネットによる「安朱きずなマップ」の作成 .....	6
山科区基本計画策定における“出前パブコメ”の企画・実施 .....	6
【下京区】 人が主役まちなか道路ワークショップの運営 .....	7
「歩いて知る下京探訪」の企画 .....	7
【南 区】 地域活性化に向けたシンポジウム開催 .....	8
次期基本計画策定の啓発活動 .....	8
【右京区】 右京区基本計画策定プロセスの企画運営 .....	9
【西京区】 西京「地域力」育成事業 モデル学区ワークショップ .....	10
洛西ニュータウン創生推進委員会～住民主体の体制を目ざして～ .....	10
【伏見区】 「京の醍醐めぐりマップ」制作 .....	11
深草商店街活性化事業 .....	11

## 雲ヶ畑のまちづくり活動1年目！

### 【事業概要】

賀茂川の源流域にある雲ヶ畑学区（北区）が盛り上がっています！

少子高齢化が進む雲ヶ畑学区では、みんなで楽しく暮らし続けるために、有志が集まり、考えることと活動することの両輪で取組みを進めています。

地域集会“まずはお茶でもしませんか？”では、お茶とお菓子をいただきながら、雲ヶ畑について意見交換。みんなで話しているといつの間にか、雲ヶ畑の未来に向けたいろんな意見が飛び交います。

そうした意見を行動に変えよう！と、ハイキングや蛍の観賞会、イベントへの出店などいろんなことが起こりました。また、大山椒魚饅頭や鹿コロッケの開発、レシピ集や「はたのわ新聞」など、いろんなものも生まれました。

みんなで考え行動することが、雲ヶ畑の中に楽しい輪（＝“はたのわ”）をつくり、地域外の協力者との連携も育みました。まちづくり活動もいよいよ2年目に入ります。ゆっくりと楽しく活動を続けることで、人や情報を引き寄せる魅力的な地域に向かって“はたのわ”を広げていきます。



地域集会の様子



大山椒魚饅頭

### 【役割/係わり方】主体性とやる気サポート

- ◎ 楽しく意見を交換できる場づくりを支援しました。
- ◎ 意見を行動に繋げるために活動の場づくりを支援しました。
- ◎ 外部協力者と繋がる仕組みづくりを支援しました。

活動を客観的にみるために活動を振り返り他事例を学ぶ機会づくりを支援しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：西原 秀倫

## 同志社大学周辺の学生の通行マナーアップの啓発活動

### 【事業概要】

同志社大学では8000名の学生が増加するため、近隣住民との摩擦が予想されていました。

そこで、特にその危機感を持っていた同志社大学学生支援課にまちづくりアドバイザーが呼びかけ、同志社大学の学生有志でプロジェクトチームを作り、室町学区の地域住民への課題のヒアリング、広告やデザインの得意な大学のサークルをコーディネートしての学生に伝わる啓発看板やポスターを制作しました。

また、大学周辺の自転車の違法駐輪への呼びかけの啓発ポスター制作やキャンペーンの参加などにも、大学生の有志が関わり、大学生に向けた啓発活動を行っています。



交通マナーアップの看板

### 【役割／係わり方】企画・立案

◎ 同志社大学・地域住民に対して課題の聞き取りや企画の立案を行いました。大学生とのチームづくりをサポートしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：浅田 雅人

## 静原地域のまちづくり活動

### 【事業概要】

平成22年度より、左京区役所まちづくり推進課では、京都工芸繊維大学の佐々木厚司研究室と共に、静原地域のまちづくりに取り組んでいます。

大原と鞍馬の間に位置する静原は、人口 500 人、150 戸の、山あいの里です。

私たちはその里で、5 回にわたるワークショップを開催し、地域の課題や魅力の再発見、魅力を伸ばすための新たな取組、里あるきなどを行いました。（参加述べ人数は 150 名）

22 年度の成果として、「静原の里マップ」が完成し、23 年 4 月に「マップおひろめイベント」を開催。住んでいてもなかなか知ることのできない静原の歴史や文化が満載のマップを片手に、小学校の子どもと一緒に里を歩き、今なお続く伝統行事や、里を守ってきた人たちの想いを伝えました。

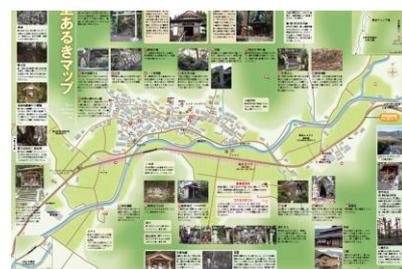
23 年度はこのマップをまちづくりにどうやって活用していくのかを考えながら、よりよい里づくりのお手伝いができるよう、中長期的な目線でワークショップやイベントを開催してゆきます。



第 1 回ワークショップの様子



里あるきの様子



静原の里マップ表面

### 【役割／係わり方】主体性とやる気サポート

- ◎ ワークショップのファシリテーター、テーブルマネージャーとして、参加者の想いを共有する場の進行役を務めました。
- ◎ 企画運営委員会の会議運営を行い、「心の温度」が高まる場づくりのサポートを行いました。
- ◎ 「静原の里マップ」作成をお手伝いしました。
- ◎ 中長期的な里の未来・目標をデザインする支援を行いました。  
マップ・報告書の作成→左京区役所 HP でご覧いただけます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000101554.html>

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：山中 はるな



## 車いすツーリズム3デイズ！

### 【事業概要】

東山区では、新基本計画に“だれもが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進”を掲げています。そのキックオフイベントとして、車いすで東山観光を楽しんでもらう「車いすツーリズム3デイズ！」を企画し、人力車のえびす屋と京都産業大学、東山区役所の産・学・官が連携してこれを実施しました。

また、車いすによる東山散策をサポートするツールとして、「車いす観光散策マップ」を作成し、メンバーによる熱心なフィールドワークの成果として広く配布しています。



車いすを使ったFWの様子

### 【役割／係わり方】 企業・大学・行政の協働をサポートするコーディネイト役

- ◎ 企画検討のワークショップにおいて、目指す方向性の共有や具体的取り組みの決定といった合意形成のプロセスを組み立てリードしました。
- ◎ アドバイザーという中立的な立場を活かして、学生と区役所との間の橋渡し役を果たし、相互の連携強化と事業の円滑な推進を支援しました。
- ◎ 学生に成果の見えるやりがいのある仕事を割り振ることで、その主体性を引き出し、事業の質を高めると同時に達成感を得てもらいました。

## 大学！地域！輪い輪いまつり

### 【事業概要】

東山区では、大学と地域の連携を促進する取り組みを進めており、大学生の地域行事への参加や地域をフィールドとした実践的な教育も行われています。

そこで、今までの取り組みの成果を区民の皆さんと振り返るとともに、大学生と区民が集う機会をつくり、更なる連携の強化へつなげることで、また参加する大学間の交流も促し、活動の一層の発展を図ることを目的として「大学！地域！輪い輪いまつり」を開催しました。



大学生と区民の交流のひとつコマ

### 【役割／係わり方】 行政による取り組みをサポートするプロデュース役

- ◎ 活動内容が地域のニーズとマッチする団体の選定や、来場者が楽しみながら参加できるブース運営の提案など、イベントの目的を実現しつつ、大学生と区民の距離を縮めるようなプログラム作りをサポートしました。
- ◎ アドバイザーの経験やノウハウなどを活かしながら、イベント趣旨に適した会場設営、大学生と来場者を結ぶツールや資料作り、イベント当日の司会進行などを担当し、参加者が自然に交流できる場を演出しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：大塚 敏之

## 山科駅前セーフティネットによる「安朱きずなマップ」の作成

### 【事業概要】

JR、市営地下鉄、京阪と3社の鉄道が接する山科駅は、1日約10万人が乗り降りする、いわば京都の東の玄関口。かねてより多くの自転車が放置され問題でしたが、より安全な玄関口としてふさわしい山科駅前を目指して、地元安朱学区が中心となり、事業者、学校、行政と連携しながら「山科駅前セーフティネット」の活動を始めました。

活動の柱のひとつは安全環境を点検するためのマップ作り。夜暗い場所を見つける等、交通安全・防災・防犯の視点で、実際にまちを歩いてチェックしました。のべ10回に及ぶマップ作成委員会での検討を経て、平成23年3月に「安朱きずなマップ」として完成しました。

取組の参加者からは「町内のことしか知らなかったが、駅前を含めた学区全域についてよく知ることができた。」「危険な場所が一目でわかる。今後は危険箇所がひとつもないような安全なまちにしていきたい。」等の声が上がると同時に「ロコミ頼みだった町内の緊急時集合場所をマップで明確にできたので、集合場所の確認や再検討にマップを使いたい。」との声も聞かれます。

まずは役員が使用して修正点や追加情報を集め、更新と全戸配布の検討を進めます。



安朱きずなマップ



まち歩きでの点検

### 【役割／係わり方】取組の企画・立案

- ◎ 漠然とした「安心・安全マップづくりがしたい」という思いを具体化させるために、マップの様々な事例を見ながら方向性を検討するような話し合いを企画しました。
- ◎ マップ作成のための情報集めについてまち歩きを含めて企画し、実施しました。
- ◎ デザイナーとの調整を行いました。

## 山科区基本計画策定における“出前パブコメ”の企画・実施

### 【事業概要】

平成23年度から始まる第2期山科区基本計画について、区民にできるだけ知ってもらうため、また計画内容に区民の意見をできるだけ取り入れるため、“出前パブコメ”を行いました。まず、策定委員以外の層の区民の意見を把握するために、のべ31団体・活動の現場を訪問し意見をいただきました。意見内容は策定委員会に報告すると同時に、市民しんぶん山科区版の連載記事としても紹介しました。他に、2ヶ月間に及ぶパブリックコメントの実施も行いました。地下鉄各駅の改札口をはじめ、区内主要施設に「ご意見ふやす箱」を設置し、139通301件の意見をいただきました



つどいのひろば「げんきスポット0-3」で、若いお母さんたちから意見をもらいました。

### 【役割／係わり方】情報の収集・発信

- ◎ 意見聴取する団体を検討し、訪問・意見聴取を行いました。
- ◎ パブリックコメントの企画、サポートを行いました。



ご意見ふやす箱

## 人が主役まちなか道路ワークショップの運営

### 【事業概要】

下京区内の都心地域一帯は、通過交通が多い地域であることから、沿道に住む住民や事業者の方々が自らの「家の前の道」のあり方を考え、通過交通のための道路ではない「人が主役まちなか道路」を実現するための取組です。昨年度に引き続き、細街路の通過交通の抑制を地域のみなさんと京都市の職員から公募した「人が主役の歩いて楽しいまちづくり」プロジェクトチームと一緒に考えてゆくというものです。

### 【役割／係わり方】ワークショップの運営

- ◎ 地域の方と「人が主役の歩いて楽しいまちづくり」プロジェクトチームが行うワークショップの企画と運営をサポートしました。
- ◎ 「人が主役の歩いて楽しいまちづくり」プロジェクトチームに地域の方との関わり方や話し合いの場の持ち方などを助言しました。

## 「歩いて知る下京探訪」の企画

### 【事業概要】

平成 23 年度からはじまる「下京区基本計画」の「まずやること」に盛り込まれた「歩いて知る下京探訪事業」のさきがけとして実施することになった区民参加のプロジェクト。

地域の歴史を地域のものしりが、語りべとなって訪れる人に伝えていこうというものです。

毎回、区内をブロックに分けて、テーマ性を持たせて散策を行うということで、今年度は下京区に残る幕末の史跡を回ることになりました。新撰組が屯所をおいたところでもあり、小説で有名な事件の跡地を江戸時代の京都の地図を片手に散策しました。意外に知られていない石碑を目にする機会に恵まれ、訪れる機会の少ない施設にも行けることになり、地域遺産を改めて学習することができました。

### 【役割／係わり方】人材育成・発掘

- ◎ 散策ルートを選定
- ◎ 地域の語りべの発掘
- ◎ 資料の作成
- ◎ 当日の講師と案内役



不動堂明王院（新選組屯所跡）

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：天岡 昌代

## 地域力活性化に向けたシンポジウム開催

### 【事業概要】

次期区基本計画の基盤となる地域力（みなみ力）は、南区の強みであるが、さらに強固なものとする為に今後どのようなことを考えたらよいかを、区内で子育て・健康等の分野で活動しているボランティア3グループをパネリストに、地域福祉専門で策定委員会のまとめ役である立命館大学津止教授をコメントーターに迎えて、3月3日にイオンモール京都でシンポジウムを開催しました。



パネリストによる討議の様子

会場には自治会役員・子育て世代等幅広い年代の方々80人程が参加、シンポジウム開催に先立って行ったアンケート結果も参考にしながら、1) 地域コミュニティとの関係 2) 地域コミュニティとの共存や連携の可能性 3) 地域力を支える地域コミュニティとテーマ・コミュニティの今後のあり方というテーマでパネリストと会場との意見交換も含めて熱心な討議が行われ、ボランティアグループの活動内容の理解と今後の相互連携に向けての第一歩が踏み出せました。

### 【役割/関わり方】シンポジウムの企画・運営を通じてグループ間のコーディネート

- ◎ 昨年の第1回シンポジウムの経験を活かしながら、関連部門（まちづくり推進課・総務課）と協働で効果的実施案を企画・提案・助言を行いました。
- ◎ 次期区基本計画の原動力となる地域力（みなみ力）について区内で活動中のボランティアグループと自治会役員・一般区民との率直な意見交換の場づくり（シンポジウム）の運営面でのサポートを行いました。

## 次期区基本計画策定の啓発活動

### 【事業概要】

区民と協働での次期区基本計画策定の過程を、広く周知徹底を図る目的で、街頭でのチラシ配布、吉祥院ジャンボリー・南区ふれあい祭り等主要イベント会場でブースを設けてPR・区HPでの情報発信等を積極的に行い、啓発活動を行ってきました。子ども向け風船プレゼントや、桜の花びらカードに10年後の夢を描いてもらう企画は、来場者全体の人気を呼び400件を超える意見をもらえました。こうした場で寄せられた貴重な意見・提案は、策定委員会に上げ、最終の基本計画に反映させることができました。



区基本計画啓発ブースの様子

### 【役割/関わり方】啓発ブースの企画から運営まで提案・助言・推進

- ◎ 効果的PR手法を考え、子どもから大人まで関心をもってもらえる啓発案を提案し、区担当部門の運営をサポートしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：金井 深水

## 右京区基本計画策定プロセスの企画運営

### 【事業概要】

平成21年度から、右京区ではこれまでの基本計画を運営してきた「まちづくり円卓会議」の成果をベースに、地域の個性を活かした計画づくりを進めてきました。基本計画策定委員会を中心とした2年間の策定プロセスの中で、「豊かな自然と歴史環境のまちづくり」「魅力ある都市環境のまちづくり」「地域活動と安心安全のまちづくり」の3つの部会ごとに検討を進め、広く区民の意見を取り入れるためのパブリックコメントも行いました。この策定プロセスを通じて、策定委員会メンバー一人ひとりが活発に意見を出し、そしてこれからの右京区基本計画の担い手となっていただけるように運営してきました。

右京区基本計画「右京かがやきプラン」では、「暮らしの価値観を変えてみる」、「地域ごとに特徴ある方向性を考える」、「良いところをほめるから始める」の3つを基本姿勢として、豊かな歴史や自然環境、都市部ににぎわい、活発な地域自治の活動を活かしたまちづくりのビジョンがまとめられています。これまでの地域活動との連携、区内で活発な大学やNPOなどの活動との連携を深めながらまちづくりを進めるとともに、基本計画の進捗を区民・行政・事業者などで幅広く共有していくための評価指標、多くの区民ができる範囲で柔軟に関わっていける運営のしくみなどを盛り込んでいます。

これからの地域のまちづくりは、地域に暮らす一人ひとりが主役となることはもちろんですが、一人ひとりがどのようにまちづくりに関わっていけるかが重要です。普段の暮らしの中でできること、できる範囲での関わりから始めていき、その輪が少しずつつながり、広がっていくことで大きなまちづくりの動きがつかられていきます。この「右京かがやきプラン」は、そうした視点を大切にしたいまちづくりを目指しています。



「右京かがやきプラン概要版」より一部抜粋

### 【役割／係わり方】 策定プロセスのマネジメントを全般的にサポート

- ◎ 基本計画策定委員会（テーマごとの部会を含む）などの検討の進め方、資源や課題の把握から具体的な活動内容の検討、将来像や運営体制づくりに至るプロセス全体の企画運営のサポートを行いました。
- ◎ 各種会合のプログラム立案、司会進行やファシリテーションなどを行いました。

テーマごとの活動内容、基本計画の運営のしくみなどのイメージづくりを行いました

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：朝倉 真一

## 西京「地域力」育成支援事業 モデル学区ワークショップ

### 【事業概要】

西京区では平成 21 年度より、地域活動の活性化に必要不可欠である自治会活動等を支援するために「まちづくり推進活動フォーラム協議会」を立ち上げ、「まちづくりリーダー塾」「モデル学区事業」「まちづくり推進活動フォーラム」等を行っています。

平成 21 年度と 22 年度、モデル学区の 1 つである松尾学区にて、地域をもっと元気にするための具体的な方策を考えるワークショップの企画、運営を行いました。



### 【役割／関わり方】ワークショップの企画、運営

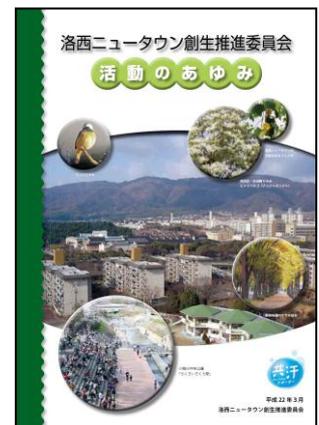
- ◎ 地域の方々と話し合いながら、ワークショッププログラムを作成しました。
- ◎ ワークショップ当日の全体のファシリテーション（進行）、グループのファシリテーションの補助を行いました。
- ◎ ワークショップで参加者が考えた活動プランの実現に向けてアドバイスをを行いました。

## 洛西ニュータウン創生推進委員会～住民主体の体制を目ざして

### 【事業概要】

平成 19 年 6 月に発足した「洛西ニュータウン創生推進委員会」は、これまでの 3 年間の活動により、自治会、各種団体や多様なまちづくり活動団体・個人がニュータウン全体で連携するための「仕組み」が芽生え、新たな「まちづくり体制」が育ち始めています。

平成 22 年度は、近い将来発生することが予想される居住環境等の課題に直面した際に、住民相互が価値観を共有したうえで、ニュータウン全体の合意形成を図ることができる住民主体の自立・持続的な体制へと発展させることを目的として、部会活動や事業など様々な取組を行いました。



発足から 3 年間の活動を  
まとめた冊子

### 【役割／関わり方】住民の主体的な活動の支援

- ◎ 部会会議等において、課題を抽出したり、目的を明確化しました。
- ◎ 部会活動や事業など、企画の具体化にあたっての助言や情報提供を行いました。
- ◎ 事務局に対して、住民主体の自立・持続的な体制につなげることに重点をおいてアドバイスをを行いました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：田尾 純子

## 深草商店街活性化事業

### 【事業概要】



イベント当日は交通規制を行い、ゆっくりお店を見て歩けます。

「地域のまんなか 暮らしのまんなか 深草商店街」というキャッチコピーのもと、深草商店街のお店の人々、深草学区各種団体の地域の人々、大学、行政など30名ほど集まって①商店街らしいまちづくり②暮らしを支え、豊かにするサロンづくり③地域とのつながりづくりに向けて意見交換会を開いています。

平成23年5月28日に、京都市初の「100円商店街」イベントの計画を立て、勉強会や準備を行っています。

### 【役割/係わり方】ワークショップの運営

- ◎ 「100円商店街」と「コミュニティサロン」のアイデアを練るなどのワークショップにおいて、テーブルファシリテーターを担当しました。
- ◎ 「100円商店街」のイベント企画部会において、イベント企画から運営、ボランティア同士の調整役などのサポートをしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：亀村 佳都